

みんなでつくる

# 第5次海田町総合計画後期基本計画について



## 【説明要旨】

第5次海田町総合計画後期基本計画について、前回説明からの変更点や、パブリックコメントの結果等を提示し、委員のご意見をお伺いしながら、今後の計画策定に生かしていくもの

## 【説明項目】

- 計画策定スケジュール
- 前回振り返りと対応、議会説明と対応
- パブリックコメントの結果と対応
- 概要版の作成

# 後期基本計画策定スケジュール

## 【令和7年度取組】

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
住民		◆町長対話（にぎわい）	◆町長対話（防災）	◆町長対話（福祉）			◆パブリックコメント				議決後に計画公表	
まちづくり 推進委員会 （外部委員）					◆素案等説明 （第1回）			◆計画案等説明 （第2回）				◆ 実施計画等説明 （第3回）
議会			◆概要等説明 （第1回全協）		◆素案説明 （第2回全協）		◆計画案説明（第3回全協）		◆ <u>計画案説明（第4回全協）</u>	◆ <u>12月議会で議案提案</u>		◆ <u>実施計画説明</u>

# 第1回まちづくり推進委員会の振り返り（令和7年8月18日開催）

## 【第1回での主な説明項目】

- ・ 計画策定に向けての諸分析
- ・ 後期計画基本方針
- ・ 後期計画素案
- ・ 計画策定に係る取組と今後のプロモーション

## 【第1回まちづくり推進委員会で頂いたご意見と修正点】

項目	ご意見	対応策
前期基本計画の検証	・ 前期基本計画の進捗の達成状況について、進捗度合いが%表示の一方で、数値化の計算方法が0から1の評価であるため、理解が難しい可能性もある。	進捗度合いの数値化の計算方法の表記も、%表示に改める。 (修正後 P33)
アンケート結果	住みやすい理由に交通利便性があがる一方で、転出したい理由に交通の不便性があがり矛盾しているように見える。 満足度調査結果に地域差がある。	小学校区別で上位回答に差があるため、住みよさや転出理由の上位回答について、小学校区別での分析を追記するとともに、強みと課題を整理のうえ記載全般を改めた。 (修正後P25～P28)

# 第1回まちづくり推進委員会の振り返り（令和7年8月18日開催）

## 主な議論の要旨

### ○ 合計特殊出生率の上昇と子育て支援策の検討

合計特殊出生率が平成25年から29年にかけて上昇しているのは、子育て世代の転入増加が背景にあるが、直近の出生数は減少傾向にあるため、さらなる子育て施策の検討が必要。

### ○ 町の課題と住宅供給

増加を目指す上で、住みたい人が増えた際に受け入れられる状況を整備できるかの分析と、住める場所がない場合の施策を検討するために、住宅の空き状況やファミリー向けの物件不足を分析する必要がある。

また交通利便性を考慮したまちづくりが必要。

### ○ 町の強みと行政の役割

コンパクトシティである海田町の地形を生かしたウォーカブルな街づくりを進めるとともに、今後も住環境の充実が必要。

### ○ 転入・転出状況の分析

近隣市町からの転出入理由の分析や、アンケート結果での交通利便性や住環境に関する相反した理由の分析が必要。

# 第1回まちづくり推進委員会の振り返り（令和7年8月18日開催）

## 主な議論の要旨

### ○ 地域の人口動態

人口減少が県全体の問題であり、広島県との連携強化が必要。

若者の地方からの流出の背景には「広島は刺激がない」という意見があり、地域特有の価値を持たせる取組も必要。

### ○ 子育て・教育と地域の連携

幼児教育に関しては、広域連携の強化と教育の一貫性を持たせることが必要。

また、他地域の成功事例から学ぶことも重要。

「子育て支援」の視点や3世代にわたった子育ての観点も必要。

### ○ 企業誘致と観光事業

海田町には、歴史的文化、食文化、自然文化、産業文化という4つの観光事業の潜在能力を有しており、それらを活かした企業誘致や店舗誘致の可能性を検討する余地がある。

観光業が地域経済に貢献する可能性を挙げ、民間との連携が重要。

### ○ 地域サービスの充実

海田町では広島市内のスーパーでは手に入らない食材があり、わざわざ買い物に来る価値がある。出産から高齢者福祉までの地域サービスの充実が重要。

# 第2回全協の振り返り（令和7年8月26日開催 海田町議会全員協議会）

## 【第2回全員協議会での説明項目】

- ・ 計画策定スケジュール
- ・ 前期計画との比較
- ・ 第1回全協の振り返り
- ・ 後期計画素案のポイント（後期計画素案本体）

## 【第2回全員協議会で頂いたご意見と対応策】

項目	ご意見	対応策
人口分析	人口動向について、令和6年11月から人口が減少しているが、計画に含まれているか	令和6～7年の住民基本台帳人口の月別推移グラフと分析を追記（P15）
アンケート結果	住みやすい理由に交通利便性があがる一方で、転出したい理由に交通の不便性があがり矛盾しているように見える。 満足度調査結果に地域差がある。	小学校区別で上位回答に差があるため、住みよさや転出理由の上位回答について、小学校区別での分析を追記するとともに、強みと課題を整理のうえ記載全般を改めた。（P25～P28）

# 第2回全協の振り返り（令和7年8月26日開催 海田町議会全員協議会）

## 【第2回全員協議会で頂いたご意見と対応策】

項目	ご意見	対応策
強みの再整理	本町の強みや魅力について、職員自ら理解し、内外にしっかりと発信できるようにならないといけない。	各分野別の強みについて、客観的な評価や統計データも踏まえながら、他市町にない本町の特色がある場合は、そこを色濃く出すよう表現を見直した。（P55以降）
目標値の見直し	「幹線道路の整備状況に関する満足度」について、目標値が実績値を下回っているのはなぜか。	前期計画で最終実績値が設定目標値を上回ったものは、後期計画では原則として、目標値は前期計画での最終実績値以上のものに設定を見直した。（P55以降）
暑さ対策の取組	地球温暖化対策において、暑さ対策の取組についても含まれているか。	「地球温暖化対策の推進」の主な取組の1つとして「公共施設などでのクールシェアの推進」を追記（P116）
ごみ減量化の取組	ごみ減量化については、「ごみが出る前の取組」も進めるべきでは。	「環境保全と循環型社会の形成」の主な取組の1つとして「ごみを出さない取組の推進（エシカル消費）」を追記（P119）

# パブリックコメント（実施概要）

## 1 期間

令和7年9月29日（月）～令和7年10月10日（金）

## 2 回答方法

### (1) 専用ボックスへの投函

設置箇所：本庁舎及び各公共施設

織田幹雄スクエア、海田東公民館、図書館、ふるさと館、福祉センター、海田児童館、町民センター、海田総合公園、こうわシンギュラリティ高校ひまわりプラザ

### (2) オンラインでの提出（電子申請）

### (3) 郵送・持参での提出

## 3 周知方法

### (1) 広報10月号への掲載

### (2) LINEでの周知

### (3) ホームページへの掲載

# パブリックコメント（実施結果）

## 1 意見提出者（件数）

5人（6件）

## 2 提出方法

- |                |    |
|----------------|----|
| (1) 専用ボックスへの投函 | 1人 |
| (2) オンラインでの提出  | 4人 |
| (3) 郵送・持参での提出  | 0人 |

## 3 意見内容

- |                        |    |
|------------------------|----|
| (1) 総合計画策定に直接的に関係するもの  | 1件 |
| (2) 総合計画策定に直接的に関係しないもの | 5件 |

## 4 意見への回答

パブリックコメント実施結果として、意見要旨とそれに対する町の回答を町ホームページで公表

## ○ 意見要旨

第1章第3節（P8）の「まちづくり推進委員会（外部委員会）」について、委員会を構成する委員の顔や意見が見えてこない。

少なくとも、資料編あたりにはまちづくり推進委員会（外部委員）の名簿一覧表が公表されてしかるべきと考えるが如何

## ○ 回答案（対応策）

頂いたご意見をもとに、下記について取り組んだ旨を回答

- ・ 計画書の資料編にまちづくり推進委員会名簿を記載（P140）
- ・ 計画書の本編にもまちづくり推進委員会での取組概要の一部を記載（P30）
- ・ まちづくり推進委員会での具体の議事録は町ホームページで公表